

単位数	2単位	副教材等	新詳高等地図（帝国書院）
学年・学級	3年A～F組選択		
教科書	基本地理A（二宮書店）		

1 学習の到達目標

現代世界の地理的な諸課題を地域性や歴史的背景、日常生活との関連を踏まえて考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容・学習活動	評価方法
第1学期	4	第1章 球面上の世界	1 地球儀と地図 2 国と国の結びつき 3 地図で見る世界のつながり 観光によるつながり	・観光という視点から地域や国家間のつながりを理解させる。 ・地域間の結びつきやその変化、現代の特質を理解させる。 ・国境の意義や領土問題が人々の生活に及ぼす影響などを考察できるようにする。 ・様々な世界地図を場面に応じて適切に扱える技能を身につけさせる。	授業への参加態度 プリント・課題等提出
	5				
	6	第2章 自然・生活・文化と私たちの暮らし	1 地形 2 気候 3 経済・文化と私たちの暮らし 期末考査	・学習を通じて地形環境が人々の生活に及ぼす影響を理解させる。 ・学習を通じて気候環境が人々の生活に及ぼす影響を理解させる。 ・経済と文化における地理的環境や歴史的背景の影響について理解させる。	授業への参加態度 プリント・課題等提出 期末考査
第2学期	9	第3章 世界各地の生活・文化	4 世界各地の生活・文化 1) 中国 2) 朝鮮半島 3) 東南アジア 4) 南アジア 5) 中央アジア・西アジア 6) 北アフリカ 7) サハラ以南アフリカ 8) ヨーロッパ 9) ロシア 10) アングロアメリカ 11) ラテンアメリカ 12) オセアニア	・宗教や自然環境、資源開発と人々の暮らしとの関連を理解させる。 ・地域の経済や民族紛争に歴史的背景があることを理解させる。 ・自然環境や資源、植民地としての歴史などが多様な文化・産業のありように結びつき、地域性をつくりだしていることを理解させる。	授業への参加態度 プリント・課題等提出
	10				
	11	第4章 地球的課題の地理的考察	1 人口問題 2 食料問題 3 居住・都市問題 4 資源・エネルギー問題 5 環境問題 期末考査	・環境問題が人類が地球的視野で取り組むべき問題であることを理解させる。 ・持続可能な開発と国際協力の必要性、日本の課題について考察させる。 ・人口集中によって生じる諸問題、途上国と先進国間の違いを理解させ、解決の方策や課題を考察させる。	授業への参加態度 プリント・課題等提出 期末考査
	12				

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	第5章 生活圏の諸課題	1 地図とGISの利用 2 日本の自然環境と防災 3 生活圏の諸課題と地域調査 学年末考查	・日本の自然環境や、人間生活と自然災害との関わりについて理解させる。 ・災害の特徴や地域性、防災への取り組み方や課題を理解させ、生徒の生活圏の防災について考えさせる。 ・生活圏の課題の解決方法を考える手段として生徒の身近な地域の地理的諸課題を見いださせる。	授業への参加態度 プリント課題等提出 学年末考查

3 評価の観点

関心・意欲・態度	現代世界の地理的な諸事象・諸課題について、興味・関心を持って意欲的に学習し、理解しようと努めたか。
思考・判断	現代世界の地理的諸事象について、地域性や歴史的背景を踏まえ、地理の見方考え方から考察することができたか。また、日本と比較し関連づけて考えることができたか。
技能・表現	地図の読図や作図、衛星画像や空中写真、景観写真の読みとりなど、地理的スキルを身につけることができたか。 資料や地理情報の活用方法を身につけることができたか。
知識・理解	現代世界の地理的事象についての基本的な知識を身につけ、相互の関連性や課題を理解することができたか。

4 評価の方法

各学期の評価は、期末考查の成績、また、プリント、レポートの提出状況や小テスト、授業への参加意欲などを総合して100点法で評価します。なお、3学期の評価は各学期の評価を平均して年間全体の学習成績を示します。

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など）

地理は生きるために必要な学問といわれています。時には隣接科目である他教科の内容に踏み込むこともありますので、いろいろなことに関心を持ってほしいと思います。理科の知識、数学の知識、時には英語の知識も必要になることがあります。今まで学習したすべての教科の内容を生かすことのできる科目です。従来の地理＝暗記ではなく、考える科目としてとらえてほしいと思います。
